

カメラ導入で何が変わった？ 成功事例から学ぶ効果的な活用法

EcoNaviSta

千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目3番地 幕張テクノガーデンB棟10階

TEL:050-5526-3869

 ライフリズムナビ+Dr.
Life Rhythm Navi Plus Doctor

専門医が考えたSaaS型高齢者見守りシステムで
介護・医療現場のお悩みを解決します。



本セミナーの目的

1

どこでも見守りカメラの**基本的な機能**を理解する。

2

どこでも見守りカメラの**活用方法**を理解する。

3

実際の活用事例を知って**自施設で取り組む**。

本日の目次

01 どこでも見守りカメラとは？

- 基本機能のご紹介
- どこでも見守りカメラ活用のメリット

02 どこでも見守りカメラを活用したことでの変化（活用事例紹介）

03 質疑応答



01 どこでも見守りカメラとは？

どこでも見守りカメラの概要



居室内、共用部、屋外にも設置可能なカメラです。

居室内の状況を、入室することなく確認できます。
ご入居者様の生活の邪魔になったり、睡眠を妨げたりすることなく、
見守ることが可能です。

共用部や屋外に設置した場合には、防犯対策としてもご利用いただけます。

機器仕様

	ネットワーク機能	入力電源	サイズ	使用環境
Vivotek FD9369	有線LAN -固定IPのみでの運用	DC 12V IEEE 802.3 af PoE Class 0 (同時電源冗長性サポート) 最大：6.49W	高さ：85mm 直径：110mm 重量：465g	-30℃～50℃ 動作時 (IRオフ)：-30℃～55℃ 動作時 (IRオフ)：-30℃～50℃

01 どこでも見守りカメラとは？

どこでも見守りカメラの概要



- ・24時間録画
- ・過去30日の録画映像が保存される

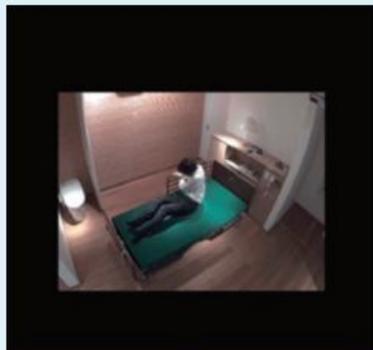


- ・天井でLANケーブルを接続
- ・居室天井からの映像が表示される

01 どこでも見守りカメラとは？

どこでも見守りカメラの概要

日中・夜間もカメラ映像で状況を確認 (ブラウザ版)



日中



夜間

映像は24時間いつでも状況を確認できます。
夜間帯においても暗視モードにより、鮮明な映像で確認することが可能です。

アプリ版でもリアルタイムで閲覧



日中



夜間

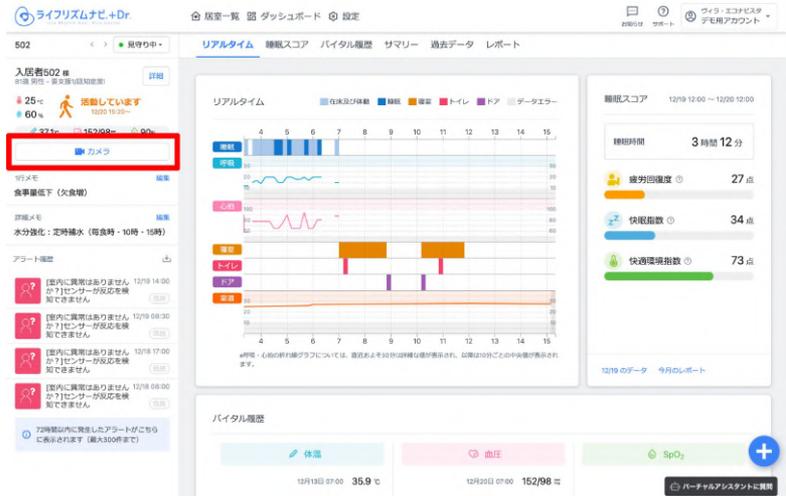
映像はパソコンだけでなく、スマートフォンアプリ版でもリアルタイムで確認可能です。

01 どこでも見守りカメラとは？

カメラ映像閲覧方法



マイページの居室一覧画面で、確認したい場所のカメラアイコンをクリックします。



マイページの居室一覧画面で、確認したい居室をクリックし、画面左側の「カメラ」ボタンをクリックします。

01 どこでも見守りカメラとは？

カメラ映像閲覧方法



アラート表示の状態、確認したい居室のカメラアイコンをクリックします。

確認したい居室のアラート履歴に表示されている「カメラ」ボタンをクリックします。

01 どこでも見守りカメラとは？

ライブビューの閲覧制限

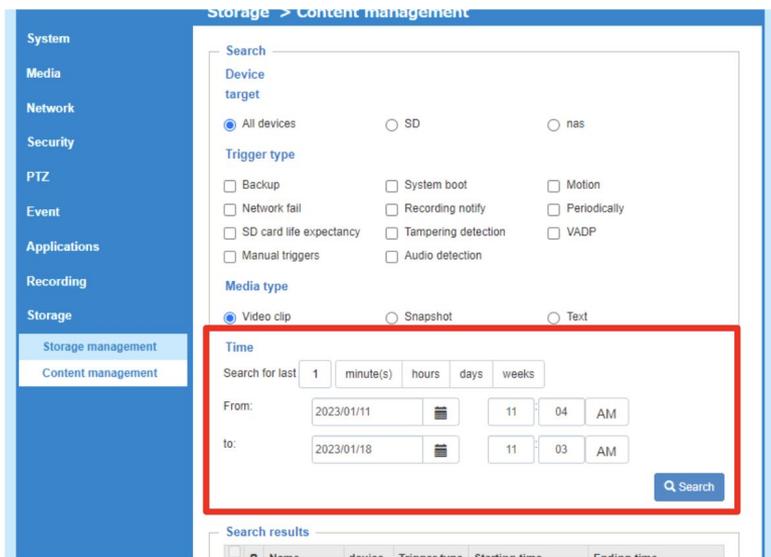


アカウント・ご入居者ごとにカメラ映像閲覧を制限することができます。

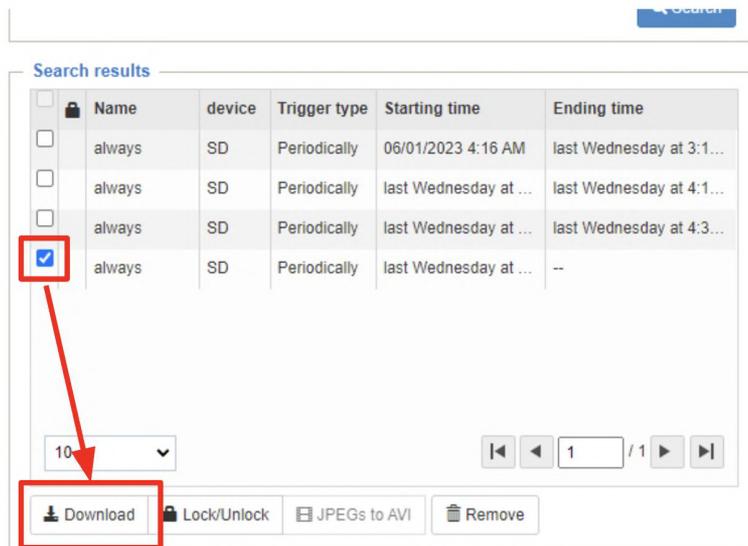
ライブビューの閲覧が制限されている状態では、このように表示され、カメラ映像を閲覧することができません。

01 どこでも見守りカメラとは？

録画映像の閲覧・データ保存



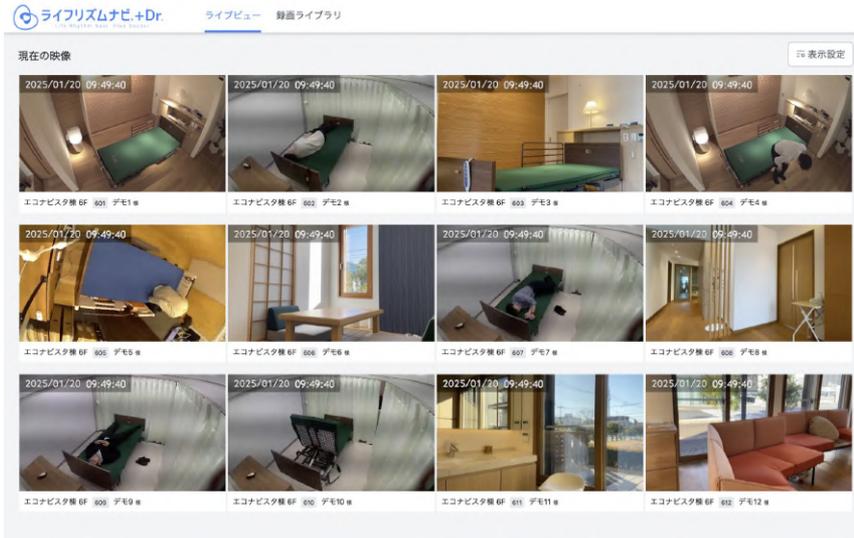
録画された映像は、日付を絞り込んで閲覧したい時間を検索することでいつでも再生が可能です。



事故映像など、必要な映像データは、ダウンロードしてPCへ保存することが可能です。

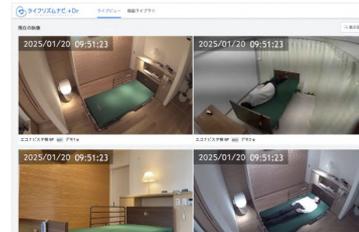
01 どこでも見守りカメラとは？

カメラビューワ機能

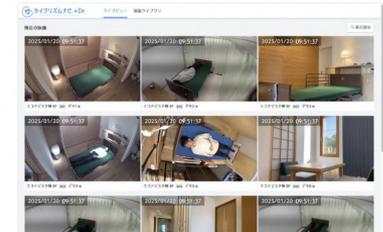


複数の居室の状況をリアルタイムで、一画面で確認することが可能です。

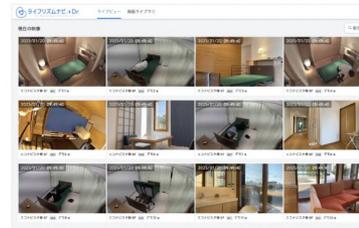
2列表示の場合



3列表示の場合



4列表示の場合



レイアウトのカスタマイズを変更することで、表示居室数を調整できます。

01 どこでも見守りカメラとは？

アラート発生前後の映像を閲覧する



アラート一覧に表示される各アラートに、「発生時の状況を確認する」のリンクをクリックするとアラート発生当時の映像が表示されます。



アラート発報時を起点に前後15秒(合計30秒間)の映像を確認することができます。

※アラート発生前後の映像閲覧はオプション機能のため、別途お手続きが必要です。詳しくはお問い合わせください。

01 どこでも見守りカメラとは？

どこでも見守りカメラ活用のメリット

Before



1部屋ずつ訪室し目視で巡視するため
スタッフの負担が大きい



フットセンサーやアラート通知を頼りに
訪室するため不要な訪室が発生する



想像で再発防止策を立てるため
事実に基づいた事故対策になりにくい



After



事務所からライフリズムナビを使って
巡視できるから**スタッフの負担減**



通知を受け取ったらまずはカメラで
様子を確認し**必要な時**だけ訪室できる



映像をもとに再発防止策を立てることで
事実に基づいた事故対策に繋がる

02 どこでも見守りカメラを活用したことでの変化

① 夜間・巡視業務の効率化と負担軽減

■ 不要な訪室の削減

「夜間巡視は2時間ごとのモニター巡視で対応できており職員の負担軽減に繋がっている。アラートが鳴った時にもカメラを確認して訪室が必要かを判断できて不要な訪室を防げている。」

「カメラで居室内を確認できることで、**複数の居室を同時に見守りできて** 役立っている。」

「導入前は各部屋を訪室し夜間巡視を行っていたが、現在はカメラなどを活用することにより**夜間の目視巡視が0になった！**」

02 どこでも見守りカメラを活用したことでの変化

① 夜間・巡視業務の効率化と負担軽減

■ アラート・緊急対応の判断

「アラートが鳴ってすぐに行けないことも多いが、都度カメラで確認する **緊急度を判断** できるようになった。」

「夜間帯にベッド活動アラートが鳴った際に、まずはカメラで部屋の様子を確認することで、訪室が必要かが判断できている。
特に、『**オムツ外しの判断** ができる点がすごく良い！』と夜勤をするうえで、とても役に立っている！」

「ベッド活動アラートで訪室回数が一時的に増えていたが、カメラで確認をすることで、早期対応・不要な訪室を避けることができています。」

02 どこでも見守りカメラを活用したことでの変化

① 夜間・巡視業務の効率化と負担軽減

■ スタッフの安心感

「カメラがあることで、すぐに確認できるという安心感がある。
そのため他のご入居者のケアに専念できている。」

「夜間は29名のご入居者をスタッフ1名で見えており、現在はライフリズムナビで巡視をしている。

最初は本当に1名で見られるのか・・・という不安もあったが、手元の端末で各居室の状況を確認できる安心感がある。」

02 どこでも見守りカメラを活用したことでの変化

① 夜間・巡視業務の効率化と負担軽減

■ 業務負担の軽減

「1時間に1度巡視を実施していたが、現在は『体位変換』『水分補給』など
人がしなければいけないことのみで その他の訪室回数を減らせている。」

「入退室時のドアの音で『誰かきた！？』と覚醒したり、人の気配を感じると起きてしまう方がいる。
今はカメラを入れたことで、訪室回数が減り 入居者を起こさずに見守りができている。」

「ご入居者の見守りの負担が減ったことで 自分の時間が増え、空いた時間でPC作業などをできる ため
夜勤明けで残業などなく定時で帰る人が増えた。」

02 どこでも見守りカメラを活用したことでの変化

②事故予防・安全対策の強化

■ 居室内の転倒予防

「アラートが鳴ると、まず居室内カメラで映像を確認。
必要であれば訪室することで、必要な時に駆け付けて **立ち上がりの前に発見ができています。**」

「複数の居室のアラートが同時に鳴り、転倒、転落の可能性があることが示唆された際に、カメラで確認し対応の優先度が付けられた。スムーズな介助を行うことができた。センサーが重なったときカメラを確認し、危険を察知することができる。」

「カメラ導入により、昼夜問わず室内の様子が分かるのが1番良いところ！
どの時間に起きているかを把握できるようになったことで **事故、ヒヤリハットの件数が減った。**」

02 どこでも見守りカメラを活用したことでの変化

②事故予防・安全対策の強化

■ スタッフの安全意識の向上

「一人で業務を行うことが多い中で、カメラを活用することで転倒リスクがある方の居室へ訪室しなくても様子が確認できている。」

「市に提出している事故の報告件数を見ると、**ものすごく少なくなったと感じている**。職員がカメラを見る癖がついたことで、1時間おきだけでなく、必要に応じて数分おきに様子を確認をしている。」

■ カメラ映像の活用による事故再発防止の強化

「居室内カメラを導入してから、**防げなかった事故が防げるようになった**。起きてしまった事故に対しては映像を振り返ることで、アセスメントもしっかりできている。」

02 どこでも見守りカメラを活用したことでの変化

②事故予防・安全対策の強化

■ 早期対応による転倒予防

「以前転倒したご入居者に各種アラートを設定し、動き出しの際にはカメラで確認し訪室できているので、転倒を防いでいる。めまいがあり転倒しやすい方にも設定し、転倒を予防できている。」

■ ケアの優先度の明確化

「今までは複数の居室からコールがありすぐに訪室することができずに、片方の方が転倒という事故があったが、見守りカメラの導入で減った。」

「アラート通知とカメラで対応するご入居者の優先度がつけられるようになった。ベテランの人は、リスクが高いのは～さんだとわかるが、その職員の感覚値による判断がなくなった。」

02 どこでも見守りカメラを活用したことでの変化

③個別対応の最適化

■ ご入居者ごとに巡視方法を変更

「ライフリズナビを導入後、カメラでの巡視または目視確認の方（嚙下障害のある方等）とご入居者ごとに分けて対応をしている。」

■ 認知症・精神的な症状への対応

「ものとりれ妄想のある方に対して、人感センサーやカメラの履歴があることで証明が来ている。定時巡視など、訪室の回数も減ることで、ご入居者から言われることも減った。」

「興奮状態が強くなってしまったり、介護拒否が出てしまった方に対して、**一旦退室しカメラで見守りを継続して、入眠などを確認する。**」

02 どこでも見守りカメラを活用したことでの変化

③個別対応の最適化

■排泄ケアでの活用

「ストマ交換を自身で行う方(職員の介入を嫌がる)が、人感センサーが継続している時に、**カメラで交換していることが確認できた。**」

「居室内カメラの映像を活用し、リアルタイムで、**おむつをいじっている様子**を確認。夜間帯でも、鮮明な映像で確認できている。」

「タオルケットを被って、映像では確認が出来なくても、ベッドセンサーが体動を検知し通知。ベッド活動アラートが通知された際に、居室内カメラの映像を確認し、排泄介助の対応が必要なのかをタイムリーに気付くことができたため、**おむつ外し**が減少した。」

02 どこでも見守りカメラを活用したことでの変化

④データ活用によるエビデンスに基づいた報告

■ 医師やご家族に説明する場面での活用

「目の見えないご入居者で『職員が出入りするから眠れない』と仰られる方、人感センサーやカメラ、睡眠グラフなどは他院の医師やご家族に説明するために使用することもできるので職員を守ることもでき、何かあったときに証拠として使用できている。」

「どの時間に入床して離床しているのか、過去データとして見られるため、家族に状態説明がしやすく便利。家族からの質問に対しても、カメラの情報があったおかげで対応することができた。」

02 どこでも見守りカメラを活用したことでの変化

⑤ ライフリズムナビ、カメラ映像、ナラティブ視点を活用した事例

転倒しても「自分は転んでいない」「拭き掃除をしていただけ」と話すご入居者への取り組み。

■ ライフリズムナビで事故発生時間の傾向

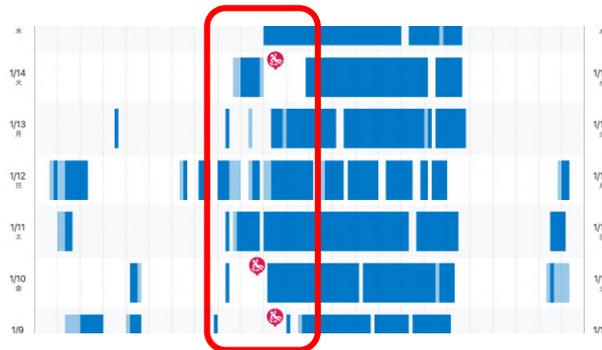
12月、1月の事故経緯からご入居者の行動パターンについてイベントスタンプで履歴を残したところ、

21時～22時半 の間で事故が多い傾向が見られる。

■ カメラ映像から事故発生時の状態

- ① 居室内の物の整理中、徐々に車いすの座りが浅く転倒
- ② 居室洗面台前で立ち上がり口腔ケアをされ、その後に車椅子へ座る際、浅く座るため転倒

口腔ケア後に立ち上がったまま、洗面台横の机上の物の整理や、車椅子上で前傾姿勢になり **床拭き掃除される様子** あり。



02 どこでも見守りカメラを活用したことでの変化

⑤ ライフリズムナビ、カメラ映像、ナラティブ視点を活用した事例

■ ご入居者の発言例

睡眠時間について:

「昔から22時頃に寝ていました。」

拭き掃除について:

「拭き掃除をしているのは、部屋でお菓子を食べて床にお菓子の跡やシミがあった時のためです。お菓子を食べた後に歯磨きをするんです。」

■ 環境整備支援のご提案

事故が起きた経緯を説明し、今後職員と一緒にやる事(床掃除、衣類整理、机の片付け等)をご提案したところ、特に不満な様子はなく「はい。お願いします」と言われる。

02 どこでも見守りカメラを活用したことでの変化

⑤ ライフリズムナビ、カメラ映像、ナラティブ視点を活用した事例

■ ライフリズムナビ、カメラ映像、ナラティブ視点から考察

仮説①

口腔ケア時に必ず立ち上がり、口腔ケア後の車椅子乗車時に浅く座ることが転倒リスクにつながっている可能性がある。

仮説②

以前の自宅生活からの習慣が影響しており、床拭きや身の回りの整理が転倒要因の一つになっている。

仮説③

ライフリズムナビの過去データより、睡眠時間(8~9時間)はしっかり取れている。
22時頃まで起きているのは本人の通常の入眠時間と考えられる。

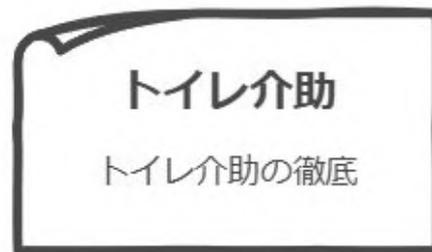
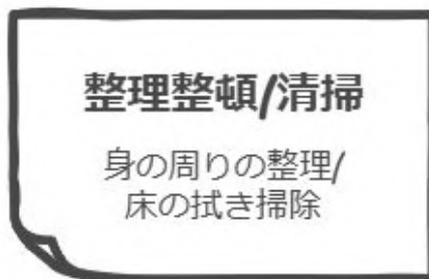
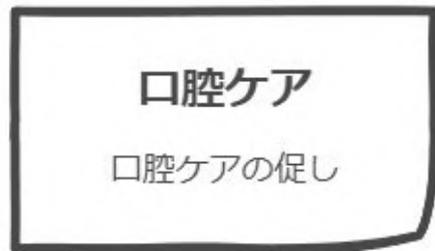


02 どこでも見守りカメラを活用したことでの変化

⑤ ライフリズムナビ、カメラ映像、ナラティブ視点を活用した事例

■ 仮説からの取り組み

就寝ケアのタイミング(20時)に合わせて以下の対策を実施。



* 特に、身の回りの整理や床掃除はご入居者と一緒に行うことで、**生活満足度を維持しながら事故削減を図る**

02 どこでも見守りカメラを活用したことでの変化

⑤ ライフリズムナビ、カメラ映像、ナラティブ視点を活用した事例

■ 事故件数の変化

12月・1月
11 件 (居室内9件、居室外2件)



2月 (14日まで)

2 件

2月14日時点で、
転倒事故は減少傾向となっている。

睡眠データ

睡眠データやイベントスタンプの
情報から傾向を分析



カメラ映像

転倒事故時のカメラ映像から、
環境整備やご入居者の
状態を確認

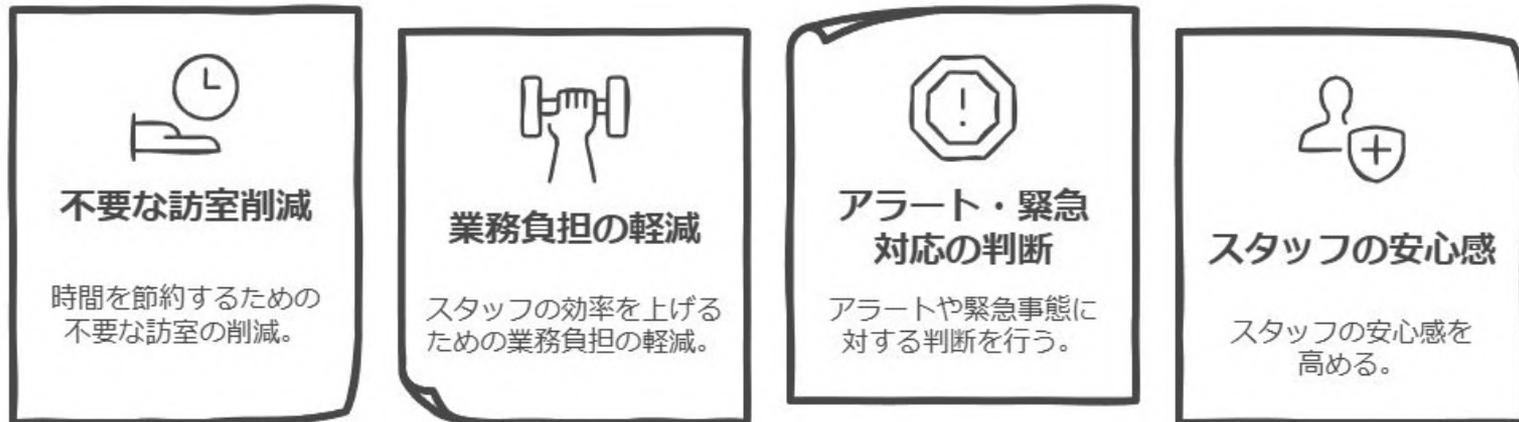


ナラティブ

ご入居者のナラティブの視点
でヒアリングした情報

02 どこでも見守りカメラを活用したことでの変化

事例のまとめ



今回はどこでも見守りカメラを活用した事例をご紹介しました。

是非、ご紹介した見守りカメラの事例を参考にしてみてください！

03. 質疑応答



質問がある方は
お気軽にどうぞ！



本日はご清聴ありがとうございました。

開発・運営：エコナビスタ株式会社

〒261-0023

千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目3番地 幕張テクノガーデンB棟10階

TEL:050-5526-3869